食品安全フォーラム in とやま
～くらしに役立つ食品表示！知って安心、見て納得～

富山県では、食の安全に関するリスクコミュニケーションの一環として「食品安全フォーラム」を開催しています。令和8年度は、「くらしに役立つ食品表示！知って安心、見て納得」をテーマに基調講演を行いました。

１　日時　　令和８年１０月２９日（木）１３：３０～１５：３０

２　場所　　富山県総合福祉会館サンシップとやま　福祉ホール（富山市安住町５－２１）

３　主催　　富山県

４　出席者　会場参加　　７０名　会場参加者名簿
オンライン参加　４２名

５　講演　　講演資料
演題１「食品表示は情報の宝庫！キホンを知って安心してお買い物」
講師　垣田　達也　氏
食品表示アドバイザー

演題２「食品表示に関する事業者の取り組み」
講師　前川　京子　氏
生活協同組合連合会　コープ北陸事業連合

６　質疑応答
〇講演１
（質問①）
・食品表示のルールは変わってきているが、現在の表示制度において、消費者にとってまだ不十分だと感じる点はどこか。
（回答）
・食品表示制度が変わると食品表示が目立たなくなる傾向がある。そのため、消費者はテレビやインターネットなどの様々な媒体を活用し、食品表示に関する幅広い情報を収集することが重要。

（質問②）
・「要冷蔵（4℃以下）」「要冷凍」の温度指定は厳守すべきか。現在の室温であれば、一晩常温で放置しても安全か。
（回答）
・「要冷蔵」や「要冷凍」の温度指定は厳守。表示に書かれている温度はメーカー側が保証しているもの。表示に書かれていない環境での保存は保証されていない。

〇講演２

（質問①）

・消費者がより安心して購入できるよう、店舗やメーカー側としてどのような表示や情報開示の仕方を心がけるべきか。

（回答）

・コープ北陸では、消費者が商品について抱くイメージと実物との間に誤差が生じないように、サイズの目安を表示するとともに、情報過多にならないよう情報を厳選し、正確かつ明確に表示することを心がけている。

（質問②）

・コープ北陸では、国で規制されている食品添加物に加え、独自の上乗せ基準を設けて規制しているものがあるとのことだが、どのような基準で選定しているのか。また、何種類ほど規制しているのか。

（回答）

・不使用添加物は 10 種類、使用制限添加物は 41 種類ある。選定基準については、世界中で研究が行われている中で、科学的な安全性のエビデンスが不足していると判断したものをリスト化し、使用しないことにしている。



垣田氏　講演



前川氏　講演


会場の様子　講演中

7　来場者の意見・感想

来場者へのアンケートでは、「食品表示について理解を深めることができた」、「食品表示の重要性について再認識できた」、「くらしに役立つ情報を得られた」等の意見があった。

※掲載されている講演資料についての留意事項

・著作権は、垣田　達也　様及び　生活協同組合連合会　コープ北陸事業連合　様にございます。

・掲載コンテンツの編集・加工は不可となります。

・なお、本コンテンツを引用する場合には出典をご明記ください。